

# メガ・ドラッグストアに調剤薬局を併設した 最も身近なヘルスケアセンター

2023年3月期  
決算説明会



# カワチ薬品

2023年5月9日

証券コード: 2664

※ 本資料に掲載しております業績予想は現時点における事業環境に基づくものであり、今後様々な要因によって予想と実際の業績が異なる可能性があります。予めご承知おきくださいますよう、お願い申し上げます。



# 目次

---

**1. 2023年3月期：連結業績**

**2. 2024年3月期 見通し**

**3. 中期計画について**

# 1. 2023年3月期：連結業績

## (1) 決算概要

## 【連結】 決算ハイライト



(単位：百万円、%)

連結実績	2022.3期			2023.3期			【参考】旧基準概算 2023.3期		
		構成比	前期比		構成比	前期比		構成比	前期比
売上高	279,462	100.0	98.2	281,871	100.0	—	283,665	100.0	101.5
売上総利益	63,149	22.6	97.6	64,047	22.7	—	64,047	22.6	101.4
営業利益	7,709	2.8	73.0	6,611	2.3	—	6,611	2.3	85.8
経常利益	8,698	3.1	75.1	7,672	2.7	—	7,672	2.7	88.2
親会社株主に帰属する 当期純利益	4,830	1.7	68.0	4,177	1.5	—	4,177	1.5	86.5
EPS(円)	216.4			187.1			187.1		
BPS(円)	4,682.6			4,818.9			4,818.9		
DPS(円)	50.0			50.0			50.0		

※当連結会計年度の期首より、「収益認識に関する会計基準」を適用しているため、実績値における増減率は記載しておりません。



# 出店及び退店の状況

## 【地方別出店及び退店】

(単位:店)

2023.3期	上期			下期			累計			
	Dg.S	調剤併設	退店	Dg.S	調剤併設	退店	Dg.S	調剤併設	退店	増減
出店数合計	3	3	0	8	10(1)	2	11	13(1)	2	9
東北地方	1	2	0	1	3	0	2	5	0	2
関東地方	2	1	0	5	6	1	7	7	1	6
甲信越・東海地方	0	0	0	2	1(1)	1	2	1(1)	1	1

<ご参考> 2022.3期	上期			下期			累計			
	Dg.S	調剤併設	退店	Dg.S	調剤併設	退店	Dg.S	調剤併設	退店	増減
出店数合計	2	1	1	9	9(1)	1	11	10(1)	2	9
東北地方	0	1	1	3	5	0	3	6	1	2
関東地方	2	0	0	6	4(1)	1	8	4(1)	1	7
甲信越・東海地方	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0

※調剤併設欄の( )内には閉局数を表示しております。

## 【店舗数合計】

店舗数	2022.3期		2023.3期	
		前期比		前期比
店舗数合計	355	9	364	9
ドラッグストア	355	9	364	9
内、調剤薬局併設	132	9	144	12



# 地域別売上高 と 従業員の状況

## 【地域別売上高】

(単位:百万円、%、店)

連結 地方別売上高	2022.3期			2023.3期			【参考】旧基準概算 2023.3期		
		構成比	前期比		構成比	前期比		構成比	前期比
売上高合計	278,544	100.0	98.2	280,948	100.0	-	282,742	100.0	101.5
(店舗数)	355		9	364		9	364		9
東北地方	87,195	31.3	96.7	87,731	31.2	-	88,297	31.2	101.3
(店舗数)	116		2	118		2	118		2
関東地方	173,025	62.1	99.1	174,424	62.1	-	175,619	62.1	101.5
(店舗数)	215		7	221		6	221		6
甲信越・東海地方	18,323	6.6	97.4	18,792	6.7	-	18,825	6.7	102.7
(店舗数)	24		0	25		1	25		1

(注)不動産賃貸収入は含まれておりません。

※当連結会計年度の期首より、「収益認識に関する会計基準」を適用しているため、実績値における増減率は記載しておりません。

## 【従業員の状況】

(単位:人)

連結従業員数	2022.3期	2023.3期
従業員数	6,946	6,906
社員	2,765	2,770
パート、アルバイト等	4,181	4,136

- ・店舗数の増加に伴い、正社員数は増加。
- ・前期末にセルフレジ導入店を増やしたことからパート・アルバイト等の人時数減に寄与。

(注)パート、アルバイトは1人1日8時間換算、年間平均雇用人員で算出。



# 部門別売上高

(単位:百万円、%)

連結 部門別売上高	2022.3期			2023.3期			【参考】旧基準概算 2023.3期		
		構成比	前期比		構成比	前期比		構成比	前期比
売上高合計	278,544	100.0	98.2	280,948	100.0	-	282,742	100.0	101.5
医薬品	50,839	18.3	99.8	52,780	18.8	-	52,780	18.6	103.8
化粧品	20,816	7.5	100.7	21,421	7.6	-	21,421	7.6	102.9
雑貨	78,344	28.1	98.4	77,581	27.6	-	78,262	27.7	99.9
食品	128,544	46.1	97.1	129,164	46.0	-	130,277	46.1	101.3

(注)不動産賃貸収入は含まれておりません。

※当連結会計年度の期首より、「収益認識に関する会計基準」を適用しているため、実績値における増減率は記載しておりません。



# 損益計算書

(単位:百万円、%)

連結実績	2022.3期			2023.3期			【参考】旧基準概算 2023.3期		
		構成比	前期比		構成比	前期比		構成比	前期比
売上高	279,462	100.0	98.2	281,871	100.0	-	283,665	100.0	101.5
売上原価	216,313	77.4	98.4	217,824	77.3	-	219,470	77.4	101.5
売上総利益	63,149	22.6	97.6	64,047	22.7	-	64,047	22.6	101.4
販売費及び一般管理費	55,439	19.8	102.4	57,435	20.4	-	57,435	20.3	103.6
水道光熱費	2,416	0.9	109.6	3,681	1.3	-	3,681	1.3	152.3
営業利益	7,709	2.8	73.0	6,611	2.3	-	6,611	2.3	85.8
営業外収益	1,399	0.5	97.0	1,442	0.5	-	1,442	0.5	103.1
営業外費用	409	0.2	97.4	381	0.1	-	381	0.1	93.1
支払利息	49	0.0	80.4	41	0.0	-	41	0.0	83.9
経常利益	8,698	3.1	75.1	7,672	2.7	-	7,672	2.7	88.2
特別利益	0	0.0	1.3	148	0.1	-	148	0.0	26,101.6
特別損失	1,011	0.3	102.4	1,248	0.5	-	1,248	0.4	123.5
法人税、住民税及び事業税	2,922	1.1	74.2	2,604	0.9	-	2,604	0.9	89.1
法人税等調整額	△ 65	△ 0.0	-	△ 209	△ 0.1	-	△ 209	△ 0.1	-
親会社株主に帰属する 当期純利益	4,830	1.7	68.0	4,177	1.5	-	4,177	1.5	86.5

※当連結会計年度の期首より、「収益認識に関する会計基準」を適用しているため、実績値における増減率は記載していません。

主な業績要因:利益への影響

- ・燃料調整価格(電気料金)上昇による販管費増
- ・地価下落、店舗の閉鎖による減損損失を計上



# 貸借対照表

## 【主な増減項目】

(単位:百万円)

	2022.3期	2023.3期	期末比 増減額
資産合計	191,721	194,496	2,775
流動資産	81,422	83,523	2,100
現金及び預金	38,959	38,450	△ 509
商品	31,402	32,961	1,559
固定資産	110,298	110,973	675
建物及び建築物	39,826	40,126	299
土地	49,601	49,292	△ 309
差入敷金保証金	7,832	7,633	△ 199
負債合計	87,071	86,771	△ 300
流動負債	60,665	62,435	1,770
買掛金	40,625	41,923	1,297
1年内返済予定長期借入金	9,200	7,909	△ 1,290
未払法人税等	1,217	1,424	206
固定負債	26,406	24,335	△ 2,070
長期借入金	13,719	11,640	△ 2,078
純資産合計	104,649	107,725	3,075





# キャッシュフロー計算書

(単位:百万円)

	2022.3期	2023.3期
I 営業活動によるキャッシュフロー	6,868	9,817
税金等調整前当期純利益	7,687	6,572
減価償却費	4,424	4,350
減損損失	944	911
賞与引当金の増減額(△は減少)	△ 176	16
退職給付に係る負債の増減額(△は減少)	498	476
契約負債の増減額(△は減少)	-	169
ポイント引当金の増減額(△は減少)	175	-
売上債権の増減額(△は増加)	△ 482	△ 753
棚卸資産の増減額(△は増加)	△ 670	△ 1,560
仕入債務の増減額(△は減少)	△ 594	1,297
法人税等の支払額	△ 4,977	△ 2,671
II 投資活動によるキャッシュフロー	△ 4,536	△ 5,840
III 財務活動によるキャッシュフロー	△ 4,607	△ 4,485
借入金の純増減額(△は減少)	△ 3,490	△ 3,369
自己株式の増減額(△は増加)	△ 0	0
配当金の支払額	△ 1,115	△ 1,116
IV 現金及び現金同等物に係る換算差額	-	-
V 現金及び現金同等物の増減額(△は減少)	△ 2,276	△ 509
VI 現金及び現金同等物期首残高	41,235	38,959
VII 現金及び現金同等物期末残高	38,959	38,450



## 2. 2024年3月期 見通し

### ➤ 消費環境

- 各種値上げによる生活費負担増続き  
先行き不透明感続く
- ⇒ 節約志向、生活防衛意識は一層高まる

### ➤ 小売環境

- 物価高による消費低迷への懸念
- 燃料高、労働力確保等、コスト増対策急ぐ
- ⇒ DX推進、システム化、機械化・自動化加速

### ➤ 業界環境

- 出店増、一段と狭商圈化進む
- 業態の垣根を超えた戦いによる消耗戦へ
- ⇒ 専門性強化による差別化策を一層強化へ



# (1) 今期計画と方針

## 1. 出退店計画

【( )は退店】

連結		上期	下期	通期
	店舗	6 (2)	10 (-)	16 (2)
調剤	3 (1)	8 (1)	11 (2)	

## 2. 既存店計画

(単位: %)

連結既存店売上高 <計画>	上期	下期	通期
	1.1	-1.0	±0

## 3. 営業方針

- ① 駆け込み需要の取り込みに注力
- ② まとめ買い促進 + 狭商圈化へ対応
- ③ 新販促施策の浸透 = 顧客獲得⇒固定客化へ



# カワチ公式アプリ(1/31~)

あなたのスマホが  
ポイントカードに！

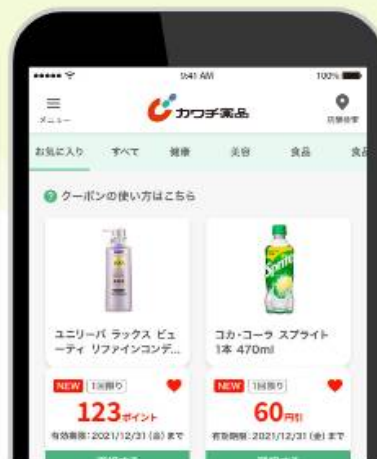


バーコードをレジで見せるだけで、  
ポイントが貯まる。

次へ



アプリ限定クーポンで  
お得にお購物！



クーポンをゲットして、  
いつものお購物がさらにお得に。

次へ



いつも行くお店の  
チラシが届く！



お購物前にチラシをチェック！  
お得な情報を見逃さない。

次へ





## 部門別方針

- ☆ **医薬品部門:**  
マスク等の感染予防関連商品は減速も底堅く推移  
調剤併設増、健康関連需要への対応、PB増により増収増益へ
- ☆ **化粧品部門:**  
外出機会増により、メイクアップ商品増。基礎化粧品は堅調  
接客機会増となることから高機能商品強化により、増収増益へ
- ☆ **雑貨部門:**  
特需のあった耐久消費財等は鈍化となる一方、  
外出機会増から、美容関連は伸長。単価増を図り増収増益へ
- ☆ **食品部門:**  
値上げ対応に注力。嗜好品等の買い控えによる点数減に対し  
野菜、精肉の導入に加え、まとめ買い促進により増収増益へ



## (2) 今期計画と方針

### 4. 生産性向上に向けての取り組み

#### (1) 新物流センター稼働

##### ① 飲料物流センター稼働(2022.11.16～)

⇒ 店舗負荷の軽減と作業時間の削減

⇒ 災害対策強化

##### ② 栃木物流センター稼働(2023. 3.16～)

各種業務の見直しと在庫圧縮へ

⇒ 稼働計画の見直しを図り、人時数減へ

⇒ 倉庫在庫の見直しを図り、在庫削減へ

#### (2) POSシステムの刷新

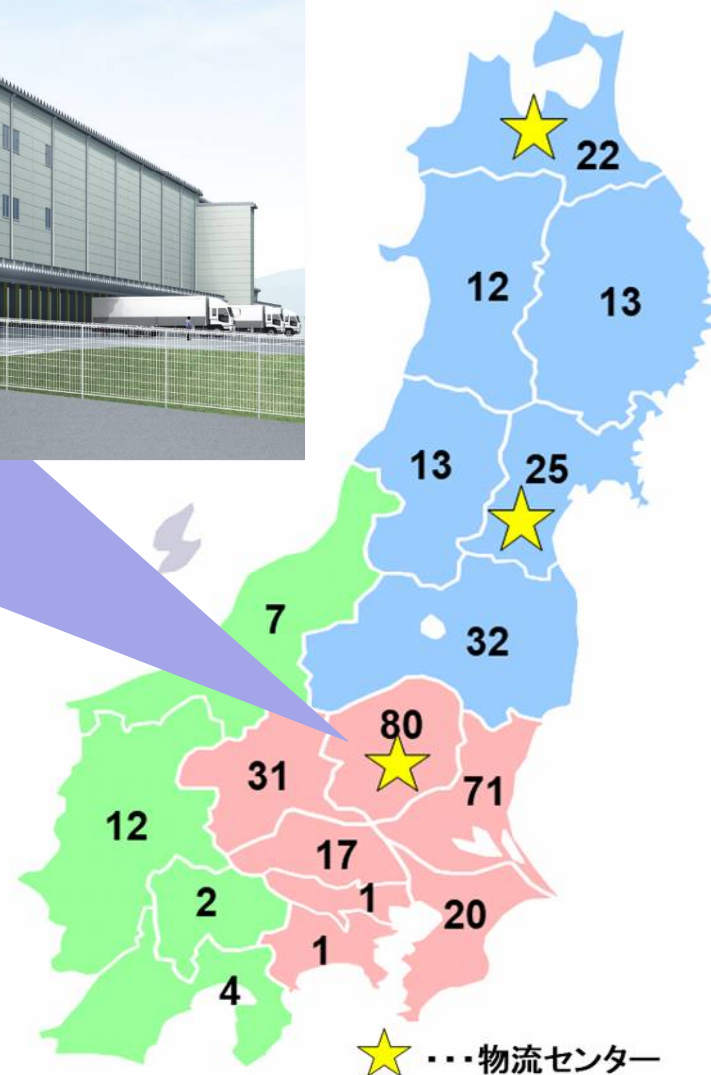
① 煩雑な操作 → 簡素化した操作 → レジ操作時間減

② 多様な販促施策に対応 → 機動的な販促対応へ





# 新物流センター稼働(3/16~)



	旧センター	新センター
名称	関東物流センター	栃木物流センター
所在地	栃木県河内郡 上三川町多功2568-1	栃木県下都賀郡 野木町大字友沼6745-1
稼働時期	2011.3.16~ 2023.3.15	2023.3.16~
敷地面積(坪)	10,223坪	18,990坪
建屋面積(坪)	4,498坪	7,466坪
対応店舗数	234店舗	480店舗

★・・・物流センター  
県別店舗数:2023/3期(連結)実績



# 業績予想 ①

## 【2024.3期予想】

(単位:百万円、%)

連結 業績予想	【参考】旧基準概算 2023.3期(実績)			2024.3期(計画)					
		構成比	前期比	第2四半期累計(計画)				構成比	前期比
					構成比	前期比			
売上高	283,665	100.0	101.5	146,100	100.0	102.5	286,500	100.0	101.6
売上総利益	64,047	22.6	101.4	33,700	23.1	104.4	66,780	23.3	104.3
販管費	57,435	20.3	103.6	30,000	20.6	106.2	60,780	21.2	105.8
営業利益	6,611	2.3	85.8	3,700	2.5	91.8	6,000	2.1	90.8
経常利益	7,672	2.7	88.2	4,200	2.9	91.9	7,000	2.4	91.2
親会社株主に帰属する 当期純利益	4,177	1.5	86.5	2,550	1.7	90.7	4,200	1.5	100.5
EPS(円)	187.1			114.2			188.1		
DPS(円)	50.0			—			50.0		

※2023.3期連結会計年度の期首より、「収益認識に関する会計基準」を適用しているため、2023.3期実績は旧基準概算値にて算出。

- 主な要因:利益への影響
- ・電気料金高等による販管費増
  - ・前期特別損失計上による反動増





## 業績予想 ②

### 【出店・退店計画及び店舗数】

(単位:店)

連結 出退店計画	2024.3期(計画)				
	出店(退店)			増減	店舗数 合計
	上期	下期	通期		
ドラッグストア	6(2)	10(-)	16(2)	14	378
内、調剤薬局併設	3(1)	8(1)	11(2)	9	153

### 【部門別売上高計画】

(単位:百万円、%)

連結	【参考】旧基準概算 2023.3期(実績)			2024.3期(計画)					
		構成比	前期比	第2四半期累計(計画)				構成比	前期比
					構成比	前期比			
売上高合計	282,742	100.0	101.5	145,650	100.0	102.5	285,600	100.0	101.7
医薬品	52,780	18.6	103.8	26,590	18.2	101.2	53,150	18.6	100.7
化粧品	21,421	7.6	102.9	11,170	7.7	103.9	21,950	7.7	102.5
雑貨	78,262	27.7	99.9	40,480	27.8	103.1	79,200	27.7	102.1
食品	130,277	46.1	101.3	67,410	46.3	102.5	131,300	46.0	101.7

(注)不動産賃貸収入は含まれておりません。

※2023.3期連結会計年度の期首より、「収益認識に関する会計基準」を適用しているため、2023.3期実績は旧基準概算値にて算出。

# 3. 中期計画について



## 中期方針

### 1. 出店方針

- メガ＋サテライトによる出店
- 調剤併設率40%

### 2. 物流システム刷新に伴うコスト削減策を推進

- オペレーション効率化に向けた取り組み
  - ① 物流及びPOSシステムの刷新
  - ② 自動発注カテゴリー増
  - ③ AIを活用した稼働計画の精度向上
  - ④ 間接部門における効率化を推進



## 中期計画(修正)

### 1. 中期計画

➤ 2024年3月期

連結売上高3,000億円、店舗数400店舗以上

→ 修正: 2026年3月期、ROE5%以上

### 2. 成長戦略

#### ① 出店戦略

\* 強固なドミナントの形成 = シェア率の拡大

\* 調剤併設率向上 = 専門性強化

#### ② 物流体制・システム強化

\* 独自の体制確立へ = 収益力向上

#### ③ DX推進による収益力強化



# 環境保全活動

## ➤ 温室効果ガス削減に向けた取組み(現在)

- ① 太陽光発電設備設置店 本社+16店舗=17箇所 ⇒今後更に176店舗に拡大
- ② アルミ缶回収ポスト導入 24店舗
- ③ ペットボトルリサイクル 13店舗
- ④ 店舗設備対応:ESCO事業(空調設備)、冷凍機等
- ⑤ 段ボールおよび古紙リサイクル ⇒ トイレtpペーパーへ(自社ストアブランド)
- ⑥ レジ袋有料化 → 環境保全活動団体への寄付・・・植樹活動へ
- ⑦ 食品ロス対策 → 「てまえどり」啓発活動
- ⑧ 店内照明LED第2期入替中

⇒ 今後、①～③においては店舗数拡大、④～⑧は基本、全店対応  
物流:排ガス規制や待機時間削減によるCO<sub>2</sub>削減も

<※上記①～⑥までのCO<sub>2</sub>合計に対する削減率にて算出>

年度	CO <sub>2</sub> 削減率 (2013年度比)	年度	CO <sub>2</sub> 削減率 (2013年度比)
2025年	35.4%	2030年	46%達成へ

# 健康で快適な生活の実現に向けて

